

11月3日(金祝)実践・研究報告 発表者一覧
(地域課題解決全国フォーラムin庄内2017)

【セッション1】課題解決①

【会場】103教室【司会】①齋藤健児, ②中原浩子, ③樋口恵佳

時間	発表者	所属	一般/学生	題名	共同発表者	概要
13:00	前田 眞	愛媛大学社会連携推進機構	一般	住民による地域課題解決の事例～愛媛県伊予市双海地区の場合～		愛媛県伊予市双海地区という人口4,000人弱の地域で、小学校を守ること、独居老人の支援、グリーンツーリズム等交流人口の増加、移住の促進、空き家対策などの地域課題がある。これらの地域課題の解決に向けて立ち上がった住民によるエンパワーメント手法、合意形成手法、担い手づくり等を学ぶ。
13:20	神田直弥	東北公益文科大学	一般	高齢ドライバーの免許返納と公共交通利用促進に関する基礎調査	相澤一寿, 菊地理紅, 齋藤良輔, 菅井達也, 高橋恭兵, 八代礼和, 我妻広飛 (東北公益文科大学)	酒田市の協力を得て、60歳以上の方を対象に質問紙調査を実施し、日常的な移手段と運転免許の自主返納や公共交通の利用に関する意識を明らかにする。調査結果を踏まえて、今後の運転免許の自主返納や公共交通の改善に係る施策形成を行う上での基礎資料とする。現在調査を実施中であり、回収済みの結果に基づき中間発表を行う。
13:40	中原浩子	東北公益文科大学	一般	相互尊重に基づく多様性社会の構築に向けて		地域活性化を目的とした交流人口・定住人口の拡大施策がとられているが、実際に地方での定住を選択した県外転入者が、移住後どのような生活を営み地域住民とどのような関係を築いているかという点に関して調査・分析を実施し考察を行った。調査の結果、地域住民と県外転入者の意識に大きなズレが見られ、今後のUIターン施策に示唆を与える結果を得た。
休憩						
14:10	山口泰史	東北公益文科大学	一般	庄内町立谷沢地区の拠点性を重視した地域活性化に関する研究	鎌田剛(東北公益文科大学)	山形県庄内町立谷沢地区では、国の地方創生拠点整備交付金を活用し、「小さな拠点整備事業」を展開している。具体的には、克雪管理センター(旧立谷沢保育園)を地区拠点としてリニューアルし、6次産業施設や地域おこし協力隊の活動拠点、多目的スペースなどを整備するものである。同時に、地域自治組織の立ち上げに向けたワークショップも行っている。今回は、そうした取り組みの内容や、先進地視察の結果等について報告する。
14:30	西村まどか	東北公益文科大学	一般	3Dプリンタで印刷する点字		3Dプリンタの用途についてはさまざまな可能性が議論されている。3Dプリンタを用いた点字印刷のアプリケーションを開発するにあたって、ユニバーサルな情報伝達の観点から必要な環境から印刷までを説明する。汎用性についても議論し、地域課題解決の糸口を探りたい。

【セッション1】課題解決①

【会場】103教室【司会】①齋藤健児, ②中原浩子, ③樋口恵佳

14:50	石井雅章	神田外語大学	一般	コンピュータ系科目における地域連携型授業の実践		報告者は3年前より、担当するコンピュータ系科目において地域連携の要素を取り入れた授業を実践している。経済や政策などを学ぶ社会科学系科目とは授業目的が異なるコンピュータ系科目において、地域連携型授業をすすめていくための工夫・課題などについて、これまで実施してきた地域連携型授業実践と比較しながら論じる。
休憩						
15:20	小出秀雄	西南学院大学	一般	川とともに生きるまち～ごみを無くし室見の自然を守ろう～	濱里研汰, 井手七洋, 尾崎遥, 坂口恵一, 中川拓歩 (西南学院大学)	私たち西南学院大学経済学部の小出ゼミ「室見」(むろたみ)は、福岡市内を流れる室見川の環境保全活動を、学生×地域の方々×企業で行っています。室見川の中、また室見川周辺の清掃活動をさまざまな方々と協力して行い、地域の憩いの場である室見川の豊かさを守っています。本報告では、私たちが地域の方々と交流することで室見というまちについてより深く知り、そこから見えてきた室見の歴史や課題を明らかにします。
15:40	小出秀雄	西南学院大学	一般	浴衣デイから学んだ西新の商店街	吉田雄太, 久保田晃平, 徳田圭晟, 濱里研汰 (西南学院大学)	我々西南学院大学経済学部の小出ゼミ「ナポレオン」は、福岡市早良区西新(にしじん)の商店街と西南学院大学のつながりをより強固なものにしつつ、西新の商店街で革命を起こすため、日々活動を行っています。本報告では、その一環として行った七夕イベント「浴衣デイ」について発表します。浴衣デイの概要、結果、そして浴衣デイを通して見えてきた西新の商店街の課題について、明らかにします。我々の活動に刮目せよ！！
16:00	小出秀雄	西南学院大学	一般	姪浜商店街をもっと元気に！～活性化への打開策～	森田健斗, 後藤寛貴, 上園大輝, 橋本真宏 (西南学院大学)	私たち西南学院大学経済学部の小出ゼミ「グローアップ姪浜」は、福岡市西区の姪浜(めいのはま)商店街を中心に活動しています。現地で活動しつつ文献調査を行うことによって、姪浜のまちと商店街の課題が見えてきました。商店街のイベントは内輪のお祭りという域を越えられず、イベントのない日は閑散としています。また、商店街自体の認知度も高くなく、利用者は少ないです。本報告では、この課題の解決策を考えます。
16:20	小出秀雄	西南学院大学	一般	VIVA!!こねのはま「姪浜さるく」	宮崎裕理, 北岡彩花, 三砂達起, 橋川紗也子, 野川裕貴 (西南学院大学)	江戸時代、小倉(こくら)～福岡～唐津(からつ)をつなぐ唐津街道の宿場町だった福岡市西区の姪浜には、現代でも古民家が存在しており、その家を使ったイベントを行っています。しかし、街道沿いはシャッターを下ろす店が増え、住宅街に再開発され、休日は閑散としています。昔ながらのまち並みをどのように活かしてまちの活気を取り戻していき、住宅のまちではなくみんなの心に残るまちにしていくかが、課題となっています。

【セッション2】人材育成①

【会場】104教室 【司会】①古山隆, ②渡辺伸子

時間	発表者	所属	一般/学生	題名	共同発表者	概要
13:00	山口円馨	東北公益文科大学	学生	ギャップイヤー報告 (酒田観光物産協会/ 庄内総合支庁)		ギャップイヤーとして、酒田観光物産協会と山形県庄内総合支庁にて実習を行いましたのでその結果を報告します。酒田市の一大イベントである「花火ショー」の実行メンバーとして参画し、大会を成功に導きました。また、山形県庄内総合支庁では行政の役割を学びました。
13:20	遠藤小野花	東北公益文科大学	学生	ギャップイヤー(日向地区/ 衣笠病院)		ギャップイヤーとして、日向地区の日向コミュニティセンターで地域おこし協力隊と共に、地域づくりについて実習してきました。また、神奈川県総合病院 衣笠病院のボランティアグループに混ざり活動してきましたので、その二つの実習結果を報告します。
13:40	八木絵莉香	東北公益文科大学	学生	住民との関わりから見てきた日向地区の魅力と現状【長期学外学修プログラム】	五十嵐洸太, 齋藤翔平(東北公益文科大学)	長期学外学修で地域おこし協力隊や日向コミュニティ振興会の活動に参加したり、地域の住民と直接関わることで、私達は地域づくりの手法や日向地区の現状・魅力を学びました。それらの学びを通して、最終目標であった「日向コミュニティセンターの二階の利活用についてのアイデアを考える」について、学生が考えたアイデアとプログラム終了後の活動として、先日行われた公翔祭にて実施した活動について報告したいと思います。
休憩						
14:10	棟方好華	東北公益文科大学	学生	ギャップイヤーを体験して		ギャップイヤーの学生提案型プログラムとして新潟市に本拠地を置きプロ野球の独立リーグに所属している新潟アルビレックスBCで約2か月間実習を行った。球団職員の方から球団経営、企画設定の方法、グッズ開発等について教えていただき、地域に野球球団を設立するために何が必要で何をすべきかを実感することができた。
14:30	木村朱里	東北公益文科大学	学生	福祉の現場での学び		ギャップイヤーのビジネスインターンシップ型プログラムとして、米沢市にあるさんゆうグループホーム「ふいりあ」と二戸市の社会福祉協議会で実習を行った。認知症になっている方々が日々の生活を送っている施設の業務と介護福祉事業および早期発達支援事業の業務を体験すること福祉現場の雰囲気を知ることができ、また、仕事をする上でどのような力が必要なのかを明確にすることができた。

【セッション2】人材育成①

【会場】104教室 【司会】①古山隆, ②渡辺伸子

時間	発表者	所属	一般/学生	題名	共同発表者	概要
14:50	鈴木理々子	東北公益文科大学	学生	グローバル学修型 ギャップイヤープログラムについて		鶴岡市にある出羽庄内国際村において、料理教室「世界の台所」の資料作成、生活ガイド・マップの増刷、国際音楽祭の看板作成などを行い、国際交流関係事業の現場を体験した。また、佐賀市にある佐賀県国際交流協会では、国際フェスタの準備(雑誌掲載依頼・データ入力・マップ作成)や地球市民の会「佐賀未来創造基金」への訪問などを行い、国際交流における啓発事業や協力促進事業について理解を深めた。
休憩						
15:20	荒木風花	東北公益文科大学	学生	山形県の特産品を広めるためには		山形県の魅力ある特産品を国内外の人々に知ってもらうために、ギャップイヤープログラムのビジネスインターンシップ型プログラムで酒田市に本社がある酒田米菓株式会社と東京の銀座にある山形県のアンテナショップ「おいしい山形プラザ」で実習を行った。酒田米菓では製造作業の補助と店頭販売を行って、製造方法や販売方針について理解を深めることができ、おいしい山形プラザでは特産品の購買状況を把握することができた。
15:40	齋藤由香	東北公益文科大学	学生	ギャップイヤー報告 (酒田市中心市街地まちづくり推進センター/穂波街道線のイスキア)		ギャップイヤーとして酒田市中心市街地まちづくり推進センターで酒田市の中心商店街の現状とまちづくりについて学び、鶴岡市の穂波街道線のイスキアでレストランの運営について体験してきたので報告します。
16:00	木村萌乃, 羽下きくの	新潟青陵大学	学生	地域ミッションインターンシップの取り組みについて	齋藤 智(新潟青陵大学)	2017年8月下旬～9月上旬の2週間、新潟県内の中山間地である東蒲原郡阿賀町と新潟市中央区にある商店街を舞台に集中講義:「地域連携実習Ⅰ」において学生自らが課題を見つけ、解決策を提案する「地域ミッションインターンシップ」を実施。学生がチームとなってコミュニケーションをとり、各店舗が持つ課題を見つけ、解決策を話し合い、提案します。この活動を通して将来さまざまな課題に対応できる人材養成を目指しています。
16:20	久間 美晴	新潟青陵大学	学生	サテライトキャンパスを活用した人材育成を考える	齋藤 智(新潟青陵大学)	大学は地域と連携し、双方の資源を活用して地域の課題解決、産業振興、地域を担う人材育成に大きな役割を果たすことになるが、課題は複数の要因が複雑に絡み合った構造となることが多い。そこで、複合型課題解決を学ぶ地域の拠点としてサテライトキャンパスを活用し、基礎的な能力として必要になる課題発見力、提案力、リーダーシップ力を備え、関係者を結び付ける役割を担える人材を養成する場としてのサテライトキャンパスでの活動を考える。

【セッション3】課題解決②

【会場】208教室 【司会】①澤邊みさ子, ②山本裕樹

時間	発表者	所属	一般/学生	題名	共同発表者	概要
13:00	佐藤崇昌	東北公益文科大学大学院	学生	鶴岡市温海地域における農泊推進について	富樫繁朋(特定非営利活動法人 自然体験温海コーディネート)	鶴岡市の温海地域(旧温海町)は、過去50年間で約60%人口が減少している。特に人口減少率の大きい集落では、農地や里山の保全が困難となるのみならず、地域行事や伝統芸能、加工品作りなど、受け継がれてきた個性的な文化が失われようとしている。特定NPO法人温海コーディネートでは、これらの地域資源を、温海の農家に民泊しながら伝統の生活を体験できる「農泊体験プログラム」として再生することにより、地域の景観や文化を伝承しながら収入を得る仕組みを作ろうとしている。
13:20	本間真也	鶴岡工業高等専門学校	学生	離島での技術提供型ボランティアを通じた実践的技術者育成と地域貢献	阿部あすか, 小野寺良二, 穴戸道明(鶴岡工業高等専門学校)	本活動は、山形県沖の離島(飛島)にて、家電製品の無償修理を現地合宿形式で行うボランティア活動である。工業高専が有する専門分野シーズを活かし、地域貢献と学生教育を図る新しい試みで、これまで8年の活動実績を持つ。一般的なボランティア活動(労働力提供型)に対し技術提供型ボランティアという斬新な発想は着実に実績をかさねており、「技術が人を豊かにする」とする活動理念の元、毎年新しい試みにトライし続けている。
13:40	山本泰弘	青年シンクタンクRHO	一般	遠方の友人を誘致して「山形日和。ツアー」をやってみた(計10回)		報告者は、2013年から2017年にかけて、首都圏を中心とする遠方に住む友人を山形に招き、3-4人単位で1-2日間の日程で県内をめぐる旅行を10回以上にわたり企画・実施してきた。山形県が展開する観光キャンペーンにちなみ、「山形日和。ツアー」と呼んでいる。この実験的実践から、交流人口増加の方策として、商業ツアーとは異なる「友人同士の旅」というスタイルを開拓・振興するアプローチの可能性を提起する。
休憩						
14:10	澤邊みさ子	東北公益文科大学	一般	山形県酒田市飛島における地区防災計画策定のための基礎研究	呉尚浩, 伊藤真知子, 小関久恵(以上、東北公益文科大学), 岸本誠司(鳥海山・飛島ジオパーク構想推進協議会)	山形県酒田市飛島においては、2014年度以降、地区防災計画制度(内閣府)の趣旨に沿って、住民主体の地区防災計画づくりに取り組んでいる(主体:とびしま未来協議会<公益大もメンバー>, 飛島コミュニティ振興会)。本報告においては、そのための基礎的な調査研究および提案について報告する。
14:30	松山 薫	東北公益文科大学	一般	日輪兵舎の保存に関する研究	山口泰史(東北公益文科大学)	日輪兵舎とは、満蒙開拓青少年義勇軍の訓練施設として茨城県内原に建てられたものを起源とする、円形平面と円錐形の屋根を持つ建物である。戦時中、この内原の建物を模した建物が日本各地に建てられたが、現存するのは全国でもわずか4棟のみである。山形県遊佐町の「日輪講堂」はその一つであり、その歴史的価値をどう伝えるか、他の3事例(それらはいずれも文化財に指定・登録済み)も参考にしながら検討する。

【セッション4】人材育成②

【会場】209教室 【司会】①小関久恵, ②小野英一

時間	発表者	所属	一般/学生	題名	共同発表者	概要
13:00	斉藤徹史	東北公益文科大学	一般	地方公共団体の公共契約と政策法務に関する研究		地方公共団体は公共工事や物品・サービスを購入するときに公共契約を締結する。本来、公共契約は「よいものをより安く」購入する(= VFM(Value For Money)の向上)ことを目指すが、最近はそのにとどまらず、各団体が政策実現のためのツールとして使うこともある。本報告では公共契約に関わる条例、とくに、地域の建設業政策に関わる条例を取り上げるとともに、その立法化に向けた実務上の論点などを考察する。
13:20	伊藤真知子	東北公益文科大学	一般	自治体における女性管理職の登用と育成に関する研究	矢作めぐみ(東北公益文科大学大学院)	男女共同参画政策や女性活躍政策が推進されるなか、地域における女性の参画は低迷している。本研究は、自治体職場における女性管理職登用に着目し、その現状や阻害要因を解明し、女性人材登用の方向性を明らかにすることを目的として、①アンケート調査(山形県内市町村長および地域住民を対象)および②インタビュー調査(女性管理職経験者)を実施した。調査結果をもとに、現状と課題、解決策について報告する。
13:40	鈴木まなみ	鶴岡工業高等専門学校	学生	グローバルコミュニケーション塾in庄内に参加して	増山知也(鶴岡高専)	鶴岡高専と庄内工業技術振興会は、1.地域企業の若手技術者の皆様と、高専生が共に海外で活躍すること、2.企業と高専のお互いを理解し合うこと、3.英語での発表、討論に習熟することを目的として、「グローバルコミュニケーション塾in庄内」を実施した。行事に参加した高専3年生の立場から、地域企業の理解や、英語によるコミュニケーションの感想を報告する。
休憩						
14:10	吉村充功	日本文理大学	一般	超高齢集落における住民との地域コミュニティ維持活動を通じた地域創生人材の育成	池畑義人(日本文理大学)	日本文理大学では2014年度よりCOC事業に取り組んでおり、全学での「地域体験交流活動」「地域課題解決のための知識の修得」「ステークホルダーとの課題解決型学習」の学修サイクル実現に向けた教育カリキュラム改革を推進している。本報告では、工学部建築学科が大分県豊後大野市土師地区(人口153人、高齢化率67%)で取り組んでいる地域拠点「ふるさと体験村」の改修や環境維持活動を通じた地域の再生や学生の成長について報告する。
14:30	土崎雄祐	宇都宮大学地域連携教育研究センター	一般	高齢社会を志向したまちづくり人材養成の実践—宇都宮大学COC事業「終章コミュニティワーカー養成講座」の取組—		宇都宮大学では、COC事業の一環として高齢社会を志向したまちづくり人材を養成することを目的に「終章コミュニティワーカー養成講座」を実施した。一般県民が地域課題解決のマインドと地域診断や課題抽出、課題解決の企画作成のスキルを学べるプログラムとした。また、修了生の課題解決の活動に対して宇都宮大学が継続して支援することとしている。発表では、講座プログラムと修了生支援の方策、その成果と課題について報告する。